



森の中にひっそりと佇む「たねラボ」。

ここは好奇心旺盛なハカセと、その助手であるくまたちが住む研究所です。

毎日、新しい「はつめい」を求めて大忙しのハカセ。

森では、ももなく開花される大きな食事会に向けて、どうがつつらは準備に追われています。

食事会にはなくさんの料理が持ち帰られます。

たねラボでも、みんなを幸せにするための特別なレシピを開発中。

「わたしたちは何を試っていきましょうか？」

想像を膨らませるハカセには、くまが提案します。

「果実やお花でなにか作るのはいかがでしょうか？」

その時です。

ドカーン。

突如大きな音とともに、おとなりのビールバーのお家からラボの窓めがけて、大量の木の実がなだれ込んで来たのです。

「アッー！」

とハカセはおこりました。

「面目ない、はりきって木の实をたくさん集めました。もう手に負えないのであととはやめよう！」

と、いつてビールバーはすぐに眠り込んでしまいました。

「こんなにたくさんさんの木の实、どうしたらいいんだ！」

くまが困りはてたその時、ハカセがひらめきます。

「はつめいだ！」

ハカセとくまたちは、森で集めた木の実や花、果実を使って、特別なビール作りに取りかかります。彼らの手によって、ほんのり甘くて、イースト防菌する森の魔法のようなビールが生まみ出されました。

ハカセ&くま「完成——！」

はたして、たねラボのビールは食事会の星になれるでしょうか。